

2019年11月22日

## AAR Japan [難民を助ける会] 台風19号（ハギビス）被災者支援について

### 【活動の背景と現在の支援について】

長野県、栃木県、福島県、宮城県では、台風19号で多くの福祉施設が建物や什器備品などに甚大な被害を受けました。台風から一ヵ月以上が過ぎた今も、施設の運営基盤を被災前の水準まで立て直す見通しがつかない施設は多く、障がいのある施設利用者とその家族が、被災前の生活に戻ることが困難な状況が続いています。

災害時、障がいのある方やご高齢の方が施設を利用できないことで、障がいや持病が悪化することに加え、家族もケアのために家を離れられないという状況も続きます。施設の運営再開は急務です。

AARではこれまで被災した各県で調査を行い、現在はその結果に基づいて、宮城県1施設、福島県5施設、長野県2施設の計8施設に対して、運営を再開するにあたって必須である送迎車や什器備品を提供しています。現在も宮城県、福島県、長野県、栃木県で福祉施設に聞き取り調査を継続しており、ニーズに基づき送迎者や什器備品を提供していく予定です。

【予算】約13,000,000円（今後の調査により増える見込み）

【事業期間】2020年1月末までに什器備品等の提供を行い、2月にモニタリング予定

### 【支援の現場から】



仮の移転先で再開した障がい児のデイサービス施設「めるくまーる」に暖房や調理器具などを届けました（写真左、11月6日宮城県大郷町）。翌日に運営を再開。代表の児玉幸司様は、「なんとか子どもたちの居場所を確保したい一心。仮とはいえ再開の第一歩を進めることができ、支援に心から感謝します」と話してくださいました。廃校を利用した元の施設は1.5メートルまで浸水し、建物も資機材も使えなくなりました（写真右、10月18日）

特定非営利活動法人 難民を助ける会（AAR Japan）  
担当：伊藤かおり（広報・コミュニケーション部部长）  
東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル7F  
電話：03-5423-4511  
E-mail：pubad@aarjapan.gr.jp（広報アドレス）